

平成27年産水稻の収穫量（九州）

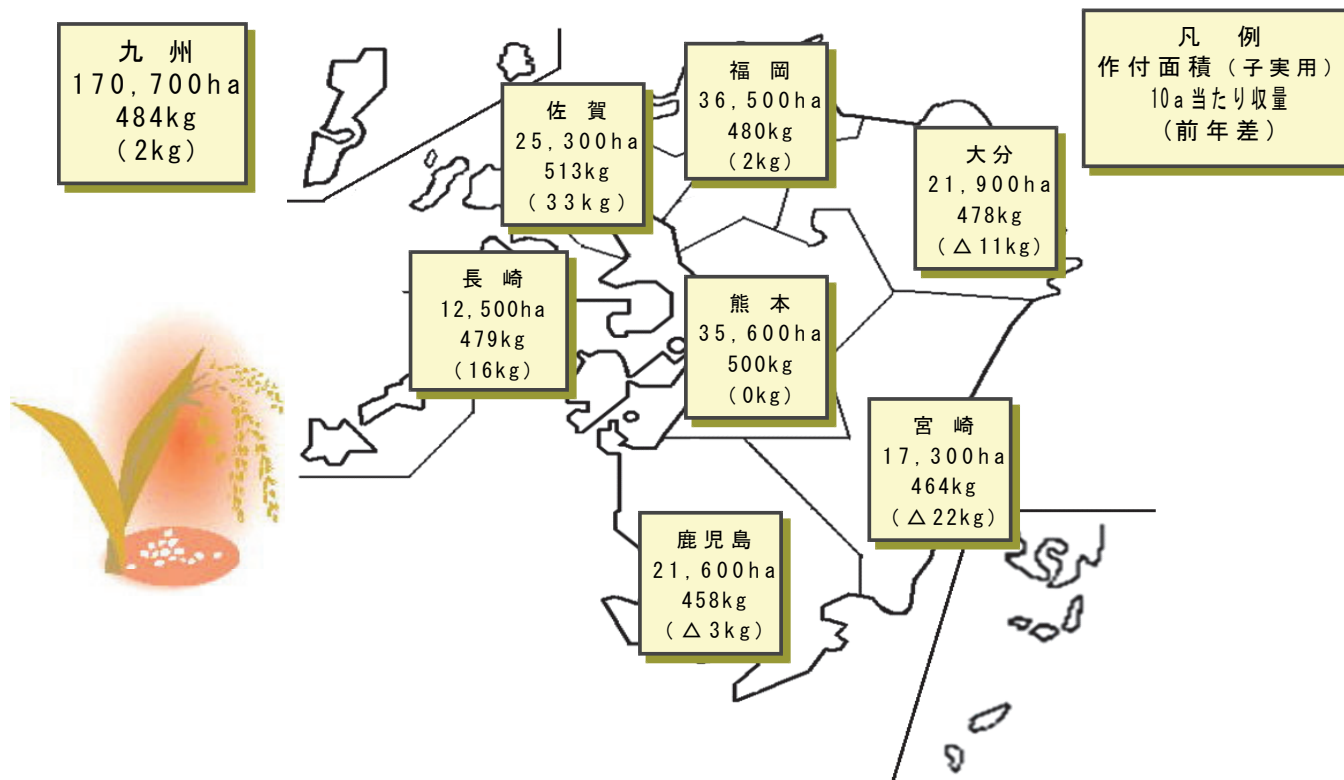
—— 水稻の収穫量（主食用）は80万6,100t（前年産に比べ3万1,200t減少） ——

【調査結果の概要】

九州における平成27年産水稻の作柄は、低温・日照不足による生育の遅れ、いもち病及び台風第15号の通過に伴うもみずれ等の被害により、10 a 当たり収量は平年を下回る484kg(前年産並み)、収穫量（子実用）は82万6,800tとなりました。

また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量(主食用)は、80万6,100t（前年産に比べ3万1,200t減少）となりました。

図1 県別水稻作付面積及び10 a 当たり収量



- 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量です。なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は3ページに掲載しています。
- 収穫量（子実用）とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積に10 a 当たり収量を乗じたものです。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積です。

本統計調査結果は、九州農政局ホームページ「統計情報」の「九州の農林水産統計データ」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht_all_press.html 】

この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の概要】16ページに掲載しています。

【調査結果】

1 作柄概況

(1) 早期栽培水稻（主産県：宮崎・鹿児島）

作柄は、宮崎が10 a 当たり収量411kg（前年産に比べ77kg減少）、鹿児島が同396kg（同59kg減少）となりました。これは、田植期以降の気象が低温・日照不足で経過したため、全もみ数が少なかったことと、登熟についても登熟期が低温・日照不足となり、特に粒の充実が不足し「不良」となったためです。

(2) 普通栽培水稻

ア 全もみ数は、低温・日照不足の影響により九州各県ともに穂数が「少ない」ないし「やや少ない」となりましたが、補償作用により1穂当たりもみ数が「多い」ないし「やや多い」となったことから、福岡、佐賀、大分及び鹿児島は「やや少ない」となり、長崎、熊本及び宮崎は「平年並み」となりました。

イ 登熟は、1穂当たりもみ数が平年より「多い」ないし「やや多い」となり、台風第15号のもみずれ・葉ずれ等の影響があったものの、9月中旬以降、日照時間及び気温日較差が平年を上回るなど、おおむね天候に恵まれ、晩生品種等を中心に登熟が回復したため、鹿児島は「やや良」、佐賀及び長崎は「平年並み」、その他の九州各県は「やや不良」となりました。

ウ このことから、10 a 当たり収量は佐賀、長崎で平年並みとなり、それぞれ513kg（作柄の悪かった前年産に比べ33kg増加）、479kg（同16kg増加）、その他の九州各県は平年を下回り、福岡は480kg（同2kg増加）、熊本は500kg（前年産並み）、大分は478kg（同11kg減少）、宮崎は501kg（同16kg増加）鹿児島は476kg（同13kg増加）となりました。

(3) 以上の結果、九州の10 a 当たり収量は平年を下回る484kg（作柄の悪かった前年産に比べ2kg増加）となりました。

2 収穫量

収穫量（子実用）は82万6,800tで、前年産に比べ3万2,000tの減少となりました。

また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は80万6,100tで、前年産に比べ3万1,200tの減少となりました。

3 被害状況

早期栽培では、気象被害として生育期間を通しての低温・日照不足の影響による分けつの抑制及び登熟不良、病害では、いもち病及び紋枯病、虫害等ではスクミリングガイ及びカメムシの発生が見受けられ、平年に比べ「多い」となりました。

普通栽培では、気象被害として日照不足による分けつの抑制及び台風第15号によるもみずれ等がみられました。

病害としては、中山間地域を中心にいもち病が平年に比べてやや多くなりました。

虫害等ではカメムシは平年並みの発生、トビイロウンカについては平年より少ない発生となりました。

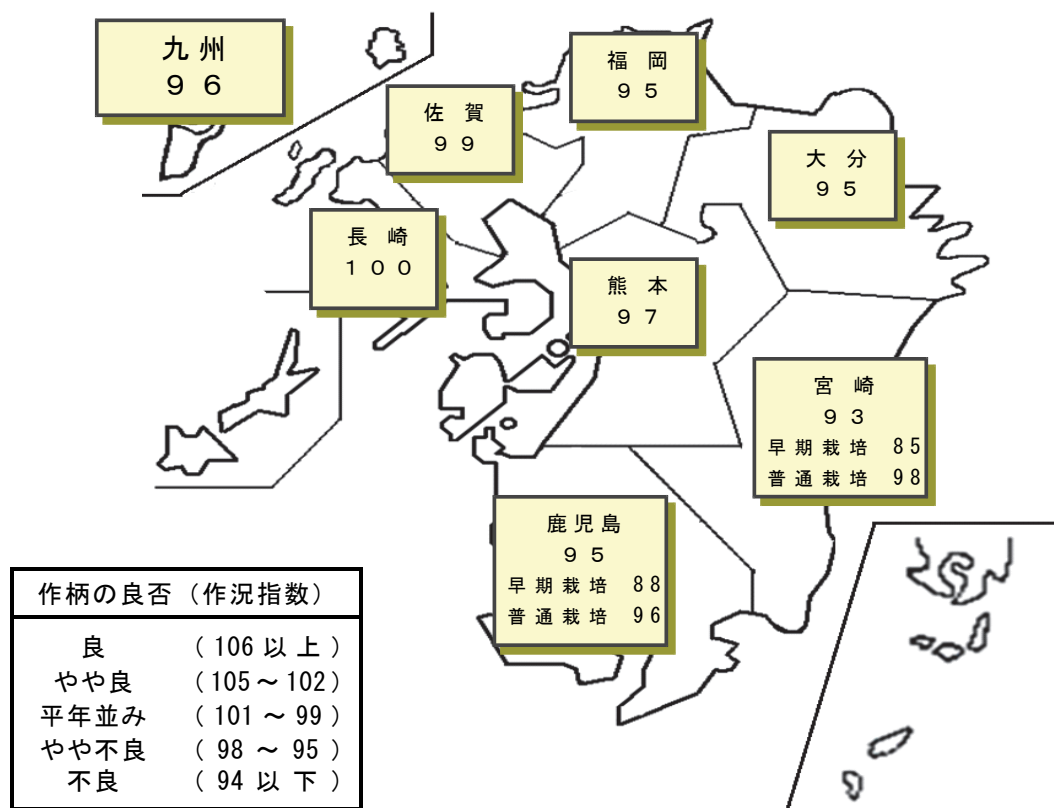
総体的に被害は「やや多い」ないし「平年並み」となりました。

表 1 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作 付 面 積 (子実用) ①	10 a 当 たり 収 量		収 穫 量 (子実用)		参 考	
		実 数 ②	前 年 産 と の 比 較 対 差	実 数 ③=①×②	前 年 産 と の 比 較 対 差	主 食 用 作 付 面 積 ④	収 穫 量 (主 食 用) ⑤=④×②
九 州 計	170,700	484	2	826,800	△32,000	166,300	806,100
福 岡	36,500	480	2	175,200	△ 4,100	35,900	172,300
佐 賀	25,300	513	33	129,800	6,900	25,000	128,300
長 崎	12,500	479	16	59,900	△ 1,200	12,500	59,900
熊 本	35,600	500	0	178,000	△ 9,500	34,300	171,500
大 分	21,900	478	△ 11	104,700	△ 7,300	21,700	103,700
宮 崎	17,300	464	△ 22	80,300	△10,100	16,100	74,700
うち早期栽培	7,090	411	△ 77	29,100	△ 9,100
うち普通栽培	10,200	501	16	51,100	△ 1,300
鹿 児 島	21,600	458	△ 3	98,900	△ 6,700	20,900	95,700
うち早期栽培	4,910	396	△ 59	19,400	△ 4,800
うち普通栽培	16,700	476	13	79,500	△ 2,000

- 注：1 作付面積（子実用）及び主食用作付面積はラウンドしているため、県ごとの積上げ値と九州計は一致しない場合があります。
- 2 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）の九州計は県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算式とは一致しない場合があります。
- 3 宮崎県及び鹿児島県の早期栽培・普通栽培別の「主食用作付面積」及び「収穫量（主食用）」は、調査において備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を作期別に把握していないため、「…」で示しています。
- 4 「△」は、前年より減少したことを示します。

図 2 県別作況指数
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



- 注：「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率です。
- 平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースで算出しており、九州においては1.80mm以上に選別された玄米を基に算出した数値です。

表 2 平成27年産水稻の県別作柄概況

区 分	10 a 当たり収 量				平 年 比 較			
	①	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			穂 数 の 多 少	1 穂 当 た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否
		10 a 当たり 収 量 ②	10 a 当たり 平年収量 ③	作況指数 ④=②/③				
	kg	kg	kg					
福 岡	480	459	481	95	少ない	やや多い	やや少ない	やや不良
福 岡	472	453	463	98	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
北 東 部	466	448	469	96	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
筑 後	495	472	497	95	少ない	やや多い	少ない	やや良
佐 賀	513	496	502	99	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
佐 賀	523	505	510	99	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
松 浦	471	458	470	97	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
長 崎	479	460	462	100	少ない	多 い	平年並み	平年並み
南 部	506	488	487	100	少ない	多 い	やや少ない	平年並み
北 部	439	417	429	97	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや不良
五 島	404	386	401	96	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
壱岐・対馬	491	474	468	101	やや多い	やや多い	多 い	平年並み
熊 本	500	484	499	97	少ない	多 い	平年並み	やや不良
県 北	519	502	510	98	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
阿 蘇	486	463	492	94	平年並み	やや多い	やや多い	不 良
県 南	488	475	497	96	少ない	多 い	平年並み	やや不良
天 草	420	412	425	97	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
大 分	478	457	481	95	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや不良
北 部	501	482	496	97	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
湾 岸	475	452	472	96	やや少ない	やや少ない	少ない	平年並み
南 部	468	446	476	94	少ない	多 い	やや少ない	不 良
日 田	457	438	475	92	少ない	多 い	やや多い	不 良
宮 崎	464	448	484	93	…	…	…	…
早期栽培計	411	399	471	85	少ない	やや少ない	少ない	不 良
広域沿海	411	399	471	85	少ない	やや少ない	少ない	不 良
普通栽培計	501	482	493	98	少ない	多 い	平年並み	やや不良
広域沿海	466	448	457	98	少ない	多 い	やや多い	やや不良
広域霧島	527	509	515	99	少ない	多 い	平年並み	平年並み
西北山間	459	435	468	93	少ない	やや多い	少ない	やや良
鹿 児 島	458	445	470	95	…	…	…	…
早期栽培計	396	383	435	88	少ない	平年並み	少ない	不 良
薩摩半島	395	383	435	88	少ない	平年並み	少ない	やや不良
大隅半島	419	405	447	91	やや少ない	やや多い	平年並み	不 良
熊毛・大島	335	325	406	80	少ない	少ない	少ない	やや不良
普通栽培計	476	463	481	96	少ない	多 い	やや少ない	やや良
薩摩半島	449	438	459	95	少ない	やや多い	少ない	良
出水薩摩	478	467	484	96	少ない	多 い	やや少ない	やや良
伊佐始良	493	478	496	96	少ない	多 い	やや少ない	平年並み
大隅半島	462	448	462	97	少ない	やや多い	少ない	良

注: 1 10 a 当たり収量①は、1.7mmふるい目幅で選別された玄米の数量です。
 2 (参考) 農家等が使用しているふるい目幅で選別については、九州においては1.80mm以上に選別された玄米を基に算出した数値です。
 3 宮崎県及び鹿児島県の県平均の「平年比較」の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均をとりまとめているため、「…」で示しています。

表3 平成27年産水稻の刈取状況

区 分	刈 取 期						
	始 期	最盛期	終 期	最 盛 期 の 比 較			
				対 平 年 差	対 前 年 差		
	月 日	月 日	月 日				
福 岡	9. 9	10. 6	10. 22	3日遅	1日遅		
福 岡	9. 1	10. 8	10. 22	2日遅	並 み		
北 東 部	8. 23	9. 23	10. 18	2日遅	2日遅		
筑 後	9. 25	10. 14	10. 25	3日遅	1日早		
佐 賀	9. 1	10. 14	11. 4	4日遅	1日遅		
佐 賀	9. 22	10. 16	11. 5	4日遅	並 み		
松 浦	8. 20	10. 3	10. 24	7日遅	4日遅		
長 崎	8. 26	10. 14	10. 28	2日遅	1日早		
南 部	10. 4	10. 17	10. 28	3日遅	並 み		
北 部	8. 23	10. 15	10. 28	2日遅	1日早		
五 島	8. 21	10. 8	10. 17	4日遅	並 み		
壱岐・対馬	8. 24	10. 6	10. 20	4日遅	2日遅		
熊 本	8. 18	10. 11	10. 29	3日遅	1日遅		
県 北	10. 4	10. 18	10. 30	3日遅	1日遅		
阿 蘇	9. 15	10. 9	10. 26	6日遅	1日遅		
県 南	9. 10	10. 13	10. 31	6日遅	4日遅		
天 草	8. 4	8. 11	10. 12	3日遅	1日遅		
大 分	9. 22	10. 20	10. 31	4日遅	3日遅		
北 部	9. 25	10. 22	11. 2	3日遅	2日遅		
湾 岸	9. 20	10. 20	10. 31	4日遅	4日遅		
南 部	9. 21	10. 19	10. 28	3日遅	2日遅		
日 田	9. 17	10. 12	10. 27	7日遅	5日遅		
宮 崎	…	…	…	…	…		
早期栽培計	7. 27	8. 2	8. 13	2日早	3日早		
広域沿海	7. 27	8. 2	8. 13	2日早	3日早		
普通栽培計	10. 6	10. 17	11. 1	2日遅	並 み		
広域沿海	9. 29	10. 11	10. 20	1日遅	1日遅		
広域霧島	10. 10	10. 19	11. 6	1日遅	1日早		
西北山間	10. 3	10. 17	10. 29	5日遅	並 み		
鹿 児 島	…	…	…	…	…		
早期栽培計	7. 24	8. 6	8. 22	1日早	5日早		
薩摩半島	7. 27	8. 2	8. 13	3日早	5日早		
大隅半島	7. 30	8. 11	8. 23	2日遅	5日早		
熊毛・大島	7. 16	7. 24	8. 3	4日早	5日早		
普通栽培計	10. 8	10. 19	11. 3	3日遅	1日遅		
薩摩半島	10. 4	10. 14	10. 24	2日遅	並 み		
出水薩摩	10. 9	10. 20	11. 8	2日遅	2日遅		
伊佐始良	10. 10	10. 21	11. 7	2日遅	2日遅		
大隅半島	10. 4	10. 15	10. 25	4日遅	並 み		

注：1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。

2 宮崎県及び鹿児島県の県平均の「刈取期」及び「刈取済面積割合」は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均をとりまとめていないため、「…」で示しています。

表4 平成27年産水稻の収量構成要素(水稻作況標本調査成績)

区分	1㎡当たり株数		1株当たり有効穂数		1㎡当たり有効穂数		1穂当たりもみ数		1㎡当たり全もみ数		千もみ当たり収量	
	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	百粒	%	g	%
福岡	16.2	95	21.6	98	350	93	80.6	104	282	97	17.4	99
佐賀	17.1	97	22.6	99	386	96	76.7	103	296	99	17.7	100
長崎	16.4	92	21.5	101	353	93	78.8	106	278	99	17.6	100
熊本	15.5	96	23.2	97	359	93	81.1	106	291	99	17.5	98
大分	15.5	96	22.5	99	348	95	82.5	102	287	97	16.9	96
宮崎	16.6	95	22.8	96	378	91	72.8	105	275	96	17.1	96
鹿児島	17.5	97	20.1	93	351	90	75.8	105	266	95	17.8	101

区分	粗玄米粒数歩合		玄米粒数歩合		玄米千粒重		10a当たり粗玄米重		玄米重歩合		10a当たり玄米重	
	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比
	%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%
福岡	86.9	101	91.0	98	22.0	101	517	98	95.0	99	491	96
佐賀	88.5	100	92.0	99	21.7	100	548	99	95.6	100	524	99
長崎	86.3	100	94.2	99	21.6	100	506	99	96.4	99	488	98
熊本	86.6	97	93.7	100	21.6	101	530	97	96.2	100	510	97
大分	85.4	97	92.7	99	21.4	100	509	94	95.5	99	486	93
宮崎	87.6	100	94.2	99	20.7	97	488	93	96.5	99	471	92
鹿児島	86.8	100	94.8	99	21.6	101	487	95	97.3	100	474	96

注：対平年比とは、過年次の作況標本結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり株数等）の平年値との対比です。

表5 平成27年産水稻の玄米品位の状況（九州）

単位：%

区分	整粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒		被害粒	死米・着色粒		(参考) 青死米等 ③=①+②
			①	②				
重量割合	65.1	31.2	1.2	3.7	0.7	1.9		
前年値	66.5	29.6	1.4	3.9	0.3	1.7		
対前年差	△ 1.4	1.6	△ 0.2	△ 0.2	0.4	0.2		

注：1 当該品位分析は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（九州は1.80mm、沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値です。

なお、本データには沖縄県のデータを含みます。

2 青死米等③とは、乳白粒（心白粒を含む。）、腹白粒、死米及び着色粒の合計です。

表6 平成27年産水稻の被害面積及び被害量（県別）

区 分	総 数		気 象 被 害		風 水 害		日 照 不 足	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九 州 計	534,500	127,000	277,600	74,800	108,700	13,500	168,300	61,200
福 岡	104,200	21,500	58,800	14,000	24,200	4,360	34,500	9,620
佐 賀	61,600	13,800	33,600	8,320	8,280	1,240	25,300	7,080
長 崎	33,000	6,690	22,700	4,010	10,500	1,980	12,200	2,030
熊 本	118,900	24,700	70,900	14,500	35,300	3,240	35,600	11,300
大 分	69,800	17,500	26,800	10,000	4,950	710	21,800	9,300
宮 崎	57,700	19,200	23,900	11,700	6,370	736	17,300	10,900
鹿 児 島	89,400	23,800	40,900	12,300	19,100	1,250	21,600	11,000

区 分	病 害		い も ち 病		紋 枯 病		虫 害	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九 州 計	172,000	40,000	87,400	29,400	37,100	5,910	69,800	7,530
福 岡	33,800	6,350	18,400	4,700	5,270	615	8,340	688
佐 賀	22,500	4,650	14,200	3,590	4,690	519	4,770	257
長 崎	6,910	1,980	3,160	1,290	1,270	230	2,510	344
熊 本	29,600	7,190	12,500	5,350	5,680	794	15,700	1,850
大 分	30,500	6,020	13,000	3,950	7,900	1,380	10,900	768
宮 崎	22,800	6,290	11,700	4,630	7,150	1,180	9,870	911
鹿 児 島	25,900	7,590	14,400	5,930	5,150	1,190	17,800	2,710

区 分	虫 害 (続 き)				そ の 他	
	ウ ン カ		カ メ ム シ		被害面積	被害量
	被害面積	被害量	被害面積	被害量		
	ha	t	ha	t	ha	t
九 州 計	10,100	2,160	8,530	1,300	15,100	4,650
福 岡	1,130	174	1,130	91	3,220	424
佐 賀	250	26	1,350	78	772	536
長 崎	666	153	395	54	900	352
熊 本	2,340	944	820	57	2,700	1,160
大 分	500	40	690	53	1,610	684
宮 崎	2,120	235	1,980	283	1,170	249
鹿 児 島	3,130	586	2,160	681	4,750	1,240

注:1 被害面積は、同一地域で2種類以上の被害を受けた場合は重複して計上しています。

2 被害面積及び被害量については、ラウンドしているため、県ごとの積み上げ値と九州計は一致しません。

【参考 1】

平成27年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としています（14ページ【参考3】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として、ふるい目幅別の重量割合並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）を示すと次のとおりです。

表7 ふるい目幅別重量分布状況

区 分		計	ふるい目幅					
			1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm以上
九州	重量割合(%)	100.0	1.4	2.3	3.0	4.3	21.2	67.8
	平均値	100.0	1.2	2.0	2.9	4.3	20.6	69.0
	対平均差	0.0	0.2	0.3	0.1	0.0	0.6	△ 1.2
福岡	重量割合(%)	100.0	1.6	2.7	3.5	4.4	19.9	67.9
	平均値	100.0	1.2	2.2	2.9	4.3	19.0	70.4
	対平均差	0.0	0.4	0.5	0.6	0.1	0.9	△ 2.5
佐賀	重量割合(%)	100.0	1.3	2.1	2.7	3.3	16.0	74.6
	平均値	100.0	1.2	1.8	2.7	3.4	17.7	73.2
	対平均差	0.0	0.1	0.3	0.0	△ 0.1	△ 1.7	1.4
長崎	重量割合(%)	100.0	1.3	2.6	3.5	4.9	26.2	61.5
	平均値	100.0	1.3	2.2	3.3	5.5	25.9	61.8
	対平均差	0.0	0.0	0.4	0.2	△ 0.6	0.3	△ 0.3
熊本	重量割合(%)	100.0	1.2	2.1	2.6	3.5	17.9	72.7
	平均値	100.0	1.2	1.9	3.0	4.0	20.7	69.2
	対平均差	0.0	0.0	0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 2.8	3.5
大分	重量割合(%)	100.0	1.7	2.6	3.3	6.1	25.9	60.4
	平均値	100.0	1.4	2.8	3.5	6.2	25.1	61.0
	対平均差	0.0	0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.8	△ 0.6
宮崎	重量割合(%)	100.0	1.3	2.1	2.8	5.0	28.8	60.0
	平均値	100.0	1.1	1.7	2.4	3.8	20.2	70.8
	対平均差	0.0	0.2	0.4	0.4	1.2	8.6	△ 10.8
鹿児島	重量割合(%)	100.0	1.0	1.8	2.8	3.9	21.8	68.7
	平均値	100.0	1.0	1.6	2.5	3.8	19.4	71.7
	対平均差	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	2.4	△ 3.0

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均値です。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

表8 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）

区 分		1.70mm 選 別	1.75mm 選 別	1.80mm 選 別	1.85mm 選 別	1.90mm 選 別	2.00mm 選 別
九 州	10 a 当たり収量(kg)	484	477	466	452	431	328
	収穫量(子実用) (t)	826,800	815,200	796,200	771,400	735,900	560,600
福 岡	10 a 当たり収量(kg)	480	472	459	443	421	326
	収穫量(子実用) (t)	175,200	172,400	167,700	161,500	153,800	119,000
佐 賀	10 a 当たり収量(kg)	513	506	496	482	465	383
	収穫量(子実用) (t)	129,800	128,100	125,400	121,900	117,600	96,800
長 崎	10 a 当たり収量(kg)	479	473	460	444	420	295
	収穫量(子実用) (t)	59,900	59,100	57,600	55,500	52,500	36,800
熊 本	10 a 当たり収量(kg)	500	494	484	471	453	364
	収穫量(子実用) (t)	178,000	175,900	172,100	167,500	161,300	129,400
大 分	10 a 当たり収量(kg)	478	470	457	442	413	289
	収穫量(子実用) (t)	104,700	102,900	100,200	96,700	90,400	63,200
宮 崎	10 a 当たり収量(kg)	464	458	448	435	412	278
	収穫量(子実用) (t)	80,300	79,300	77,600	75,300	71,300	48,200
鹿 児 島	10 a 当たり収量(kg)	458	453	445	432	414	315
	収穫量(子実用) (t)	98,900	97,900	96,100	93,400	89,500	67,900

- 注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものです。
 2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、県別及び九州計の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものです。

表9 水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布
 【平成27年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：%

区 分	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
九 州	100.0	0.3	3.4	44.5	44.2	7.5	0.1
福 岡	100.0	-	1.8	9.6	87.8	0.4	0.4
佐 賀	100.0	-	-	0.5	54.8	44.7	-
長 崎	100.0	3.2	24.4	55.1	13.5	3.8	-
熊 本	100.0	-	2.1	35.4	60.1	2.4	-
大 分	100.0	-	0.5	65.8	33.7	-	-
宮 崎	100.0	-	-	99.5	0.5	-	-
鹿 児 島	100.0	-	-	85.0	15.0	-	-

注：この表は水稲作況標本(基準)筆農家が選別に使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものです。

表10 平成27年産水稻作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況

単位：%

区 分		計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
九 州	筆数割合	100.0	0.1	0.5	1.5	12.9	36.6	40.4	7.8	0.2	-
福 岡	筆数割合	100.0	0.4	0.4	1.5	8.5	36.9	47.7	4.6	-	-
佐 賀	筆数割合	100.0	-	0.5	1.4	7.6	26.2	44.7	18.6	1.0	-
長 崎	筆数割合	100.0	-	-	-	14.7	36.7	45.3	3.3	-	-
熊 本	筆数割合	100.0	-	0.4	0.7	9.3	36.8	42.8	10.0	-	-
大 分	筆数割合	100.0	-	-	2.2	13.7	39.3	40.5	3.8	0.5	-
宮 崎	筆数割合	100.0	-	0.5	2.9	16.7	44.2	28.1	7.6	-	-
鹿 児 島	筆数割合	100.0	0.5	1.5	2.0	23.2	35.9	31.8	5.1	-	-

注： 10a 当たり玄米重は1.70mmふるい目幅で選別された玄米の重量です。

図3 平成27年産水稻作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（九州）

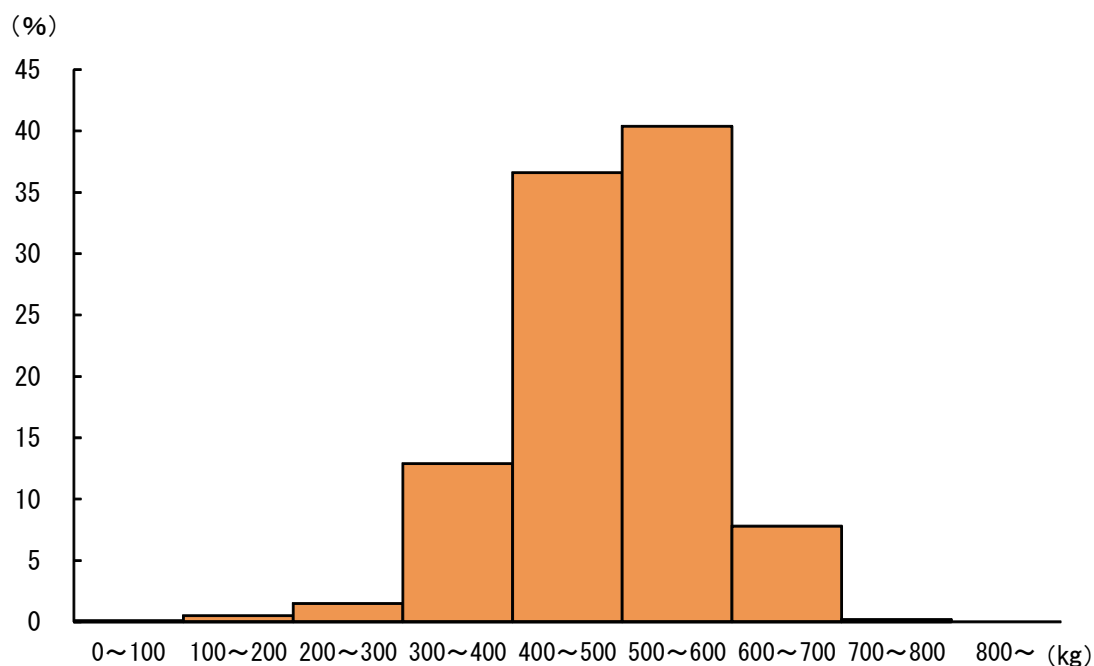


表11 平成27年産水稻の作柄表示地帯別の作況指数
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

区 分	作況指数	区 分	作況指数
福岡	95	宮崎	93
福岡	98	広域沿海	88
北東部	96	広域霧島	99
筑後	95	西北山間	93
佐賀	99	早期栽培計	85
佐賀	99	広域沿海	85
松浦	97	普通栽培計	98
長崎	100	広域沿海	98
南部	100	広域霧島	99
北部	97	西北山間	93
五島	96	鹿児島	95
壱岐・対馬	101	薩摩半島	93
熊本	97	出水薩摩	96
県北	98	伊佐始良	96
阿蘇	94	大隅半島	94
県南	96	熊毛・大島	80
天草	97	早期栽培計	88
大分	95	薩摩半島	88
北部	97	大隅半島	91
湾岸	96	熊毛・大島	80
南部	94	普通栽培計	96
日田	92	薩摩半島	95
		出水薩摩	96
		伊佐始良	96
		大隅半島	97

注： 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率です。

平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースで算出しており、九州においては1.80mm以上に選別された玄米を基に算出した数値です。

【参考 2】

◎ 水稻調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

累年データ

表12 水稻(子実用)の年次別推移(九州)

年 産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成 元 年産	255,500	492	1,256,000	…	…	104
2	252,200	480	1,210,000	…	…	101
3	247,700	381	942,700	…	…	80
4	256,200	485	1,243,000	…	…	101
5	258,500	365	942,800	…	…	76
6	270,100	547	1,477,000	…	…	114
7	256,700	510	1,310,000	…	…	106
8	238,600	500	1,194,000	…	…	104
9	234,900	479	1,124,000	…	…	100
10	215,800	498	1,075,000	…	…	103
11	213,900	416	889,700	…	…	85
12	210,500	510	1,073,000	…	…	103
13	202,600	511	1,035,000	…	…	104
14	199,600	505	1,008,000	…	…	102
15	196,800	480	945,600	…	…	96
16	201,900	424	855,800	…	…	85
17	202,300	474	959,500	…	…	94
18	200,200	390	780,400	…	…	78
19	195,800	478	936,200	…	…	95
20	190,600	508	968,700	189,500	962,600	101
21	189,800	506	960,700	188,600	954,600	101
22	190,000	491	933,000	188,400	925,100	98
23	183,500	505	927,000	181,300	915,400	100
24	183,300	489	895,700	181,200	884,500	97
25	183,500	488	895,700	180,900	882,900	97
26	178,200	482	858,800	173,700	837,300	96
27	170,700	484	826,800	166,300	806,100	96

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積です。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積です。

3 作況指数は、平成26年産までは1.70mmのふるい目幅以上に選別された玄米、平成27年産は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（九州は1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値です。

4 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示しています。

表13 ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：％

年 産	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
平成18年産	100.0	2.0	3.0	5.2	8.6	33.0	48.2
19	100.0	1.2	1.9	3.1	4.8	23.7	65.3
20	100.0	1.5	2.3	3.2	5.2	23.8	64.0
21	100.0	1.2	2.0	3.1	4.8	22.2	66.7
22	100.0	0.8	1.3	2.0	3.1	16.0	76.8
23	100.0	1.2	2.0	2.7	4.4	21.2	68.5
24	100.0	1.1	1.8	2.6	4.2	19.9	70.4
25	100.0	1.4	2.5	3.6	5.4	23.6	63.5
26	100.0	1.4	2.4	3.4	4.5	21.9	66.4
27	100.0	1.4	2.3	3.0	4.3	21.2	67.8
平均値	100.0	1.2	2.0	2.9	4.3	20.6	69.0
対平均差	0.0	0.2	0.3	0.1	0.0	0.6	△ 1.2

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均値です。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

表14 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移

年 産		1.70mm 選 別	1.75mm 選 別	1.80mm 選 別	1.85mm 選 別	1.90mm 選 別	2.00mm 選 別
平成18年産	10a 当たり収量 (kg)	390	382	371	350	317	188
19	10a 当たり収量 (kg)	478	472	463	448	425	312
20	10a 当たり収量 (kg)	508	500	489	472	446	325
21	10a 当たり収量 (kg)	506	500	490	474	450	338
22	10a 当たり収量 (kg)	491	487	481	471	456	377
23	10a 当たり収量 (kg)	505	499	489	475	453	346
24	10a 当たり収量 (kg)	489	484	475	462	442	344
	収 穫 量 (t)	895,700	885,800	869,700	846,400	808,800	630,600
25	10a 当たり収量 (kg)	488	481	469	451	425	310
	収 穫 量 (t)	895,700	883,200	860,800	828,500	780,200	568,800
26	10a 当たり収量 (kg)	482	475	464	447	426	320
	収 穫 量 (t)	858,800	846,800	826,200	797,000	758,300	570,200
27	10a 当たり収量 (kg)	484	477	466	452	431	328
	収 穫 量 (t)	826,800	815,200	796,200	771,400	735,900	560,600
	対前年比 (%)	96.3	96.3	96.4	96.8	97.0	98.3

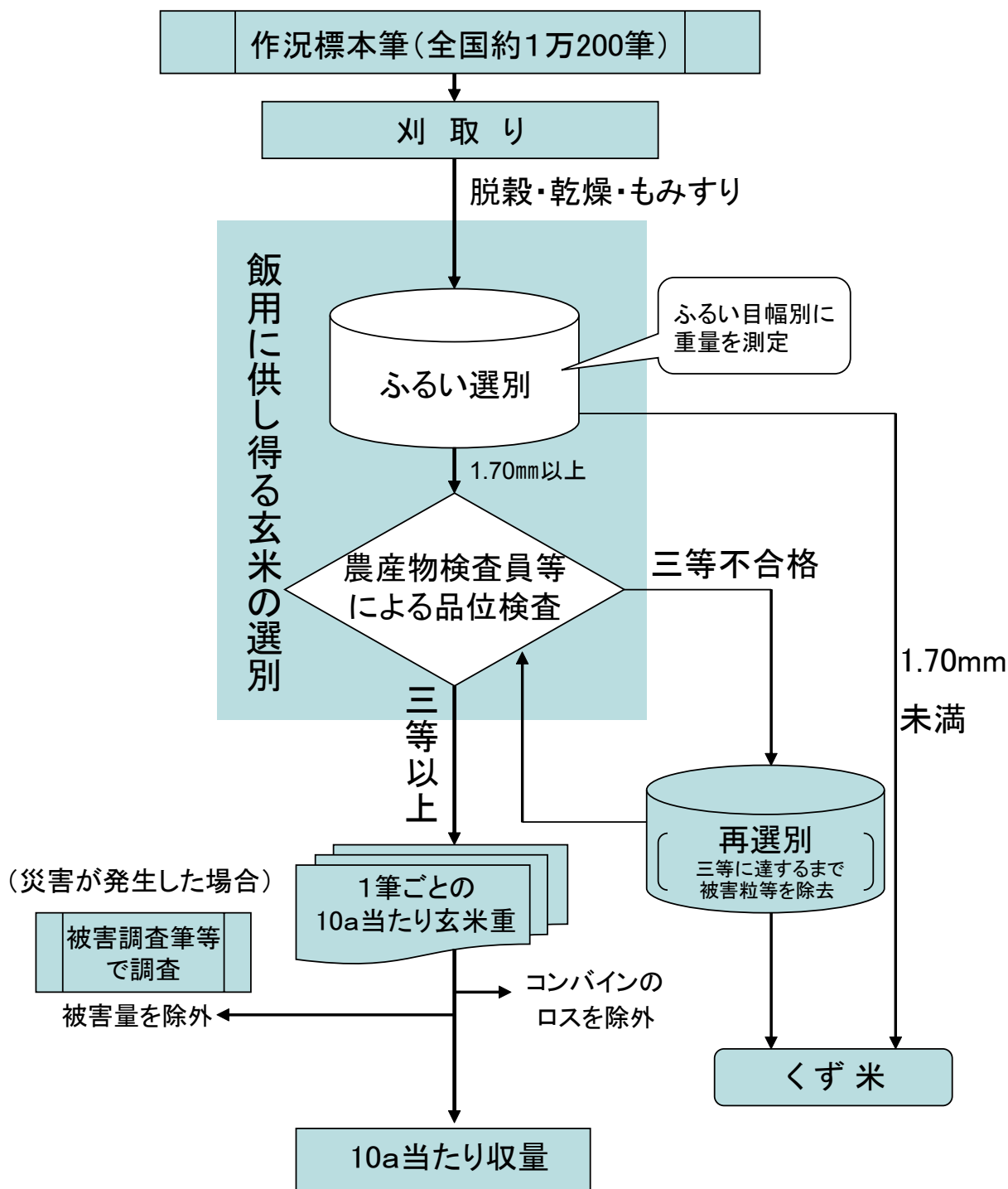
注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、九州の10a 当たり収量にふるい目幅重量割合を乗じて算出したものです。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、九州の収穫量にふるい目幅重量割合を乗じて算出したものです。

3 ふるい目幅別の収穫量(子実用)については、平成24年産より集計・公表を行っています。

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考4】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考 4】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場^{ふで}を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し（全国で1万200筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



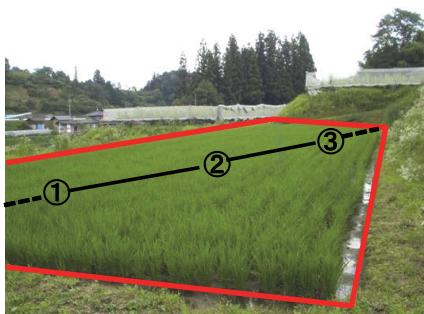
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で1万200筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況・収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：6,027単位区 巡回・見積り：233市町村

(2) 収穫量調査

作況標本筆：1,495筆 作況基準筆：131筆 巡回・見積り：233市町村

3 調査事項

(1) 作付面積調査

水稲の作付面積

(2) 収穫量調査

登熟状況、10a 当たり収量、被害状況、被害種類別被害面積・被害量及び耕種条件等

4 調査期日

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 収穫量調査：収穫期

5 調査方法

(1) 作付面積調査

標本単位区に対する職員又は統計調査員による実測調査及び職員による巡回・見積り

(2) 収穫量調査

職員又は統計調査員による、作況標本筆及び作況基準筆に対する実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積り

ふるい目幅別の調査は、刈取り・もみすりした粗玄米を縦目ふるいにより、ふるい目幅別に選別し重量を計測

6 集計方法

(1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果を集計し、巡回・見積り結果により補完

(2) 収穫量調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、巡回・見積りにより補完

ふるい目幅別については、ふるい目幅別の重量の計測結果を集計

7 用語の解説

(1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指します。

(2) 「穂数の多少」とは、1㎡当たりに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

(3) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

(4) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

(5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

- (6) 前述の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較です。

多 少 (良 否)	少 ない (不 良)	や や 少 ない (やや不良)	平 年 並 み	や や 多 い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94% 以下	95 ~ 98%	99 ~ 101%	102 ~ 105%	106% 以上

- (7) 「作況指数」とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率です。
 なお、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出していましたが、平成27年産からは、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（九州では1.8mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値です。
- (8) 「10a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a 当たり収量をいいます。
- (9) 「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量から減収が生じた面積をいいます。
- (10) 「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量より減収した量をいいます。

8 その他

- (1) この資料の確定した詳細な数値はホームページに掲載（平成28年2月予定）するとともに、その後刊行する『耕地及び作付面積統計』及び『作物統計』に掲載する予定です。
 なお、確定した詳細の数値をホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせします。
- (2) 表中に用いた記号は以下のとおりです。
 「…」：事実不詳又は調査をかくもの
 「△」：負数又は減少したもの
 「－」：事実のないもの

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>統計情報

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電 話：(代) 096-211-9111 内線 4943・4944

直通電話： 096-211-9863

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電 話：(代) 096-211-9111 内線 4924

直通電話： 096-211-9845